

## HSBCアセットマネジメント、一般炭関連投資からの撤退を発表

- アクティブファンドでは、EUならびにOECD諸国で2030年までに、世界全体では2040年までに投資対象から一般炭関連企業を除外します。
- 企業とのエンゲージメント（目的を持った建設的な対話）を強化し、結果的に取締役会メンバーの再任に反対票を投じる可能性があります。
- 脱炭素への移行計画が不十分な企業への投資から徐々に撤退していきます。

**2022年9月22日** – HSBCアセットマネジメントは上場企業投資において石炭火力発電ならびに一般炭採掘を行う企業（「一般炭関連企業」）への投資から段階的に撤退する方針を発表しました。

HSBCアセットマネジメントは積極的に企業の取締役会と協働し、EUならびにOECD諸国で2030年までに、世界全体では2040年までに一般炭関連事業から脱却する取り組みを進めていきます。その時間的枠組みの中で、一般炭関連事業から脱却していく上での信頼性のある計画を提示しない企業に関しては、HSBCアセットマネジメントは支援を停止します。その際、年次株主総会で会長に反対票を投じることや最終的に投資から除外することなどがあります。

この方針はHSBCアセットマネジメントが署名しているネットゼロ・アセットマネジャーズ・イニシアチブと一致するものです。2020年にHSBCグループは融資先排出量（気候変動対策支援の融資先および投資先企業の炭素排出量）を2050年までにゼロとする意欲的な目標を設定しました。今回の発表はHSBCグループがこのネットゼロという意欲的な目標を達成するための重要な一歩であり、グループ全体として石炭火力発電および一般炭採掘から段階的に撤退していく取り組みをさらに進めるためのものです。

**HSBCアセットマネジメントのCEOを務めるニコラ・モロー（Nicolas Moreau）**は「これは一般炭関連事業から段階的に脱却するための確固とした一歩です。グローバルな炭素排出量の削減は、パリ協定の目標達成に向けた集約的な協力体制があってこそ可能になります。その中で当社は自らの役割を果たしていくことをお約束します。HSBCはすでに新規あるいは既存の一般炭関連事業への直接投資を停止しました。私たちは2つの側面からこのような取り組みを行っています。一般炭関連事業から段階的に撤退することと併せて、新しい投資ソリューションを当社のオルタナティブ投資事業で開拓し、持続可能なインフラ投資ならびに非常に重要な気候変動対策の技術的ソリューションへのベンチャー投資を拡大していきます」また、

「私たちは一般炭関連事業からの移行にお客様と共同で取り組めることを確信し、支援を行います。そして、炭素排出量の削減に積極的かつ信頼性のある取り組みを行っておらず今後も取り組み予定の無い企業とは決別することを明言いたします」と述べています。

新しい方針の主要な点は以下の通りです。

- **アクティブおよびパッシブ運用における投資を通じたエンゲージメント** – 企業とのエンゲージメントが円滑に進まない場合、H S B C アセットマネジメントは売上高の 10%超を一般炭関連事業から得ながら気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) あるいは同等の報告様式に基づいた情報開示を行っていない発行体上場企業の取締役会の会長の再任に、賛成票を投じないこととなります。またエンゲージメント<sup>1</sup>後も脱炭素への移行計画が不適切な状態のままである企業の取締役会の会長にも反対票を投じます。
- 発行体企業とのエンゲージメントの強化：脱炭素への移行計画がH S B C アセットマネジメントのネットゼロ目標と相容れないと考えられる企業への投資を徐々に引き上げていくことも選択肢として検討します。
- アクティブ運用のポートフォリオ – EU、OECD 市場では 2030 年まで、世界では 2040 年までに売上高の 2.5%超を一般炭関連事業から得ている上場株式発行体企業をH S B C アセットマネジメントが運用するポートフォリオの投資対象銘柄から除外することとします。これはH S B C アセットマネジメントが投資判断の裁量を有する全てのポートフォリオと管理権限<sup>2</sup>を有するファンドに適用されます。
- 本日付けで、H S B C アセットマネジメントがアクティブ運用を行うポートフォリオは、一般炭関連事業の拡大に関わっている発行体の新株発行 (IPO) あるいは債券発行による資金調達に参加しないこととします。
- その他にも売上高の 10%超を一般炭関連事業から得ている企業が IPO や債券発行による資金調達に参加する際は、H S B C アセットマネジメントのネットゼロ目標に確実に合致しているかどうかを判断するため、企業の移行計画のデューデリジェンス<sup>3</sup>を強化します。
- **パッシブ運用** – 売上高の 2.5%超を一般炭関連事業から得ている発行体を投資対象とする上場投資信託 (ETF) あるいはインデックスファンドを新たに組成することはありません。ただし、パリ協定の 1.5 度目標に沿った戦略か、あるいは明確な一般炭関連事業からの撤退の道筋を示している ETF あるいはインデックスファンドに関しては例外とします。H S B C アセットマネジメントはインデックスプロバイダーと共同で、一般炭関連事業とは関係のないインデックスあるいはパッシブ運用商品の拡大に取り組み、一般炭関連事業への投資の減少を目指します。

また、H S B C アセットマネジメントはオルタナティブ投資やリクイディティといった他の投資戦略についても見直しを行いつつ、2050年まであるいはより早い段階でネットゼロを達成するための取り組みに沿って管理すべき資産については、炭素排出量削減の中間目標と進捗状況を公表する予定です。

こうした方針を毎年再評価し、外的要因に応じた修正を行うことを検討します。

HSBCアセットマネジメントは、一般炭から段階的に撤退し実現可能で安全なエネルギーへの移行を可能にする投資戦略を策定していくことを約束します。クリーンエネルギーのインフラへの投資を増やすことは喫緊の重要課題であり、HSBCアセットマネジメントはオルタナティブ事業を通じてクリーンエネルギーのソリューションの向上、ならびにレジリエントな低炭素エネルギーシステムを促進する初期段階のテクノロジーへの支援に注力しています。その一環として、気候テクノロジー分野のベンチャーキャピタルや持続可能なインフラ・プロジェクトへの投資が含まれます。またネットゼロへの移行をさらに推進するために、HSBCアセットマネジメントはポリネーションとの合弁会社であるクライメート・アセット・マネジメントを通じ、炭素排出量を削減し、生物学的多様性を保全・再生するための自然資本への投資も行います。

#### 注記：

- HSBCアセットマネジメントが実践している方針詳細：  
<https://www.assetmanagement.hsbc.co.uk/en/institutional-investor/about-us/responsible-investing/policies>
- HSBCグループの方針詳細：  
<https://www.hsbc.com/-/files/hsbc/our-approach/risk-and-responsibility/pdfs/211214-hsbc-thermal-coal-phase-out-policy.pdf>

[1] - 株主投票に際して、HSBCアセットマネジメントは自社分析と低炭素経済推進イニシアチブである TPI (Transition Pathway Initiative) のスコアに基づいて発行体の移行の進捗状況を評価します。HSBCアセットマネジメントは売上高の10%超を一般炭関連事業から得ている発行体上場企業の全てについて、アクティブ運用ポートフォリオでは2023年末までに、ETFならびにインデックス運用ポートフォリオでは2025年末までにこのような評価の対象とすることを目指しています。

[2] - 具体例としては、HSBCアセットマネジメントがポートフォリオ運用上の完全な裁量あるいは取締役会/株主権限の管理権限を有していない場合が挙げられます。例えば合弁事業、独立取締役が管理するファンドの取締役会、顧客分離型マンドートなどです。現時点で今回の方針に盛り込まれた誓約は、顧客、ファンドの取締役、規制当局の承認に準じたものになります。

[3] - IPO や債券新規発行に関するデューデリジェンスに基づき、各運用チームは一般炭関連事業から売上高の10%超を得ている全ての発行体企業の移行計画を、当社のネットゼロ目標との整合性の観点から評価する必要があります。その評価は、HSBCアセットマネジメントの資産クラス ESG 委員会ならびに ESG 監視委員会が監督します。

#### HSBCグループ

HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングスplcは英国・ロンドンに本部を置いています。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ、中東、北アフリカにまたがる63の国と地域でお客さまにサービスを提供し、2兆9,850億米ドル（2022年6月末現在）の総資産を持つ、世界有数の金融グループです。

## HSBCアセットマネジメント

HSBCアセットマネジメント株式会社は、HSBCグループの資産運用部門として個人・事業法人・機関投資家に投資ソリューションを提供する、HSBCアセットマネジメントに属しています。HSBCアセットマネジメントは24の国と地域に拠点を持ち、それぞれのマーケットを深く理解している国際的なネットワークを活かして、お客さまにグローバルな投資機会を提供しています。HSBCアセットマネジメント全体の運用資産は約5,950億米ドル（2022年6月末現在）です。

以上